

茅ヶ崎セントラルクリニック 川野 和雄(営繕・ドライバー / 事務)

功 績 自らの特技であるカメラの知識を活かし、院内のネットワークカメラの選定、配置、管理等の役割を担い、不法投棄をしていた人物を特定し、当院の美化、環境整備に貢献した功績。

推 薦 者 事務長 若林陽盛

推 薦 理 由 ご自身の持つ知識と技術、および高い熱意と情熱、職員同士でのコミュニケーションをフルに活用し、自身の業務の範疇を超えた仕事に対して、理事長賞に相応しいと考え、本件を理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

川野さんは入職して3年の営繕兼ドライバーとして活躍されています。自ら動き、困っているところに直ぐに赴いて対応することで、職員からの信頼もとても厚い職員です。現在、茅ヶ崎セントラルクリニックには週3日、また湘南慶育病院でもドライバーとして活躍しています。

今年度に入り、当院の駐車場に不法投棄が目立ち始めました。食べ物の包装袋からパンの耳、ペットボトルなど、日によってさまざまなゴミが投棄されている現状がありました。

川野さんは、デジタルカメラで写真を撮ることを趣味としており、このような現状に対して、自身も持っている知識が何か役に立たないか、と考え、設置、導入の費用がほとんどかからないネットワークカメラの設置を思いつきます。主に夜間に捨てられていること、また捨てられている位置が殆ど一緒であることなどから、夜間対応、野外設置可能、院内のネットワークが活用できる商品を選定、提案していききました。

7月頃からネットワークカメラの選定に入り、実際に導入したのは8月。毎日総務職員と一緒に朝、動画を確認し、その都度カメラの設置位置や人感センサーの感度調節などを行っていきます。その努力が実を結び、10月、決定的場面とその人物の特定に至り、当該人物への厳重な注意を持って、その日以降、ペットボトルの投げ捨てによる不法投棄は無くなりました。